

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 児童発達支援事業所キャンディさーかす

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		活動や出席児童に合わせて配置を工夫しております。	
	2 職員の配置数は適切である	7			指定された基準はクリアしているが、1対1でつかなければならない場合や、送迎、欠勤した職員がいた場合、人員不足を感じます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	2	・賃貸の物件の為、建物の構造的に厳しい所があるが段差が低い事や活動する上での導線の確保や情報伝達の配慮に気を付けています。 ・刺激にならない程度に視覚的に止まれる印をつけています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		・毎日の掃除、玩具の消毒、環境整備等を行い常に清潔を保てる様、意識しています。 ・個別対応が出来る空間も工夫しています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		常に情報を共有しながら振り返りと次の目標に向けて検討するケース会議・朝のミーティングを設定し記録も取っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			保護者にも評価表を記入して貰い、頂いた評価を元に改善点や保護者の意向に添える支援が提供できる様、アップデートしています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			開所して初めての自己評価となります。頂いた評価を元に振り返り・改善点を皆で検討し改善内容をホームページ等に公開していく予定です。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				保護者以外の第三者からの外部評価は、2/14の事業所訪問で頂いた助言を取り入れながら業務改善に繋げていきたいと思っています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2		外部研修に体制等の問題で参加出来ていないので今後、参加出来る体制づくりをしていきたい。
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		・アセスメントは細かく行う様になっています。 ・児童発達管理責任者以外の職員もアセスメントを行い多方面からの情報収集をした上で支援計画書を作成しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		7	一人ひとりの発達状況や特性に応じたアセスメント・保護者からの聞き取り等で行っている。	標準化されたアセスメントツールは専門的知識が必要な為、必要に応じて学んでいきたい。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		・乳幼児の基本である養護と5療育を基本に個々の特性に合わせた配慮をしながら支援に当たっています。 ・小集団の中で総合的な支援を行った上で、就園に向けての相談・連携・情報の共有をしています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		児童発達支援計画書の原案を全員で考え作成しているため支援計画に沿って支援を提供しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7		活動プログラムの立案や検討を定期的に全員で行う様にしています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		子どもたちの特性や課題に応じたプログラムや季節の制作等、一人ひとり合わせたプログラムを提供できる様に工夫しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	7		子どもたちの特性や発達状況・その日の組み合わせも考えた上で計画書を作成しています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		朝のミーティング等で送迎の体制や出席児童の確認・健康状態を把握した上で、支援にあたっています。必ず記録も取っています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		支援終了後に記録を作成し、必ず情報を共有しています。記録に記載されていない情報に関して気づいた職員はその都度、発信し記録もしています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		カイポケアアプリを利用しタブレット・パソコン等で日々の記録の管理等をしています。日々の記録以外に保護者との細かいやり取りも経過記録に記録しています。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		ガイドラインに沿うと、6か月に一回モニタリングの規定だが、必要に応じて3~4か月で見直しをしている事もあります。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		7		障害児相談支援事業所を利用していい子がおらず、ほぼセルフプランな為、今後利用している子がいれば是非、参画していきたいです。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関や関係機関と連携した支援を行っている	7		子育てサポートセンター心理士・母子保健コンシェルジュ・保健師ケースワーカー・児童ケースワーカー等に連携を図っています。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				医療的ケアが必要な児童はまだいないが、必要に応じて連携をとっていききたいです。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				医療的ケアが必要な児童はまだいないが、必要に応じて体制を整えて行きたいと思います。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		当事業所を利用した後、就園する児童に関しては保護者の同意と意向に応じて就園先の保育園・幼稚園等と支援内容の情報の共有をしています。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		就学に向け保護者の同意と意向を元にいわきっ子支援シートを作成し就学支援会議にも参加致します。切れ目のない支援を目指しています。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている				時間と体制に余裕があれば、研修等を受けていきたいという前向きな思いがあります。今後、機会を作っていきたいです。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		7		交流の為に、是非来てくださいという保育園さんがありますが、送迎車輛が軽自動車の為車輛の検討が必要。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
携	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している				子育てサポートセンター主催のペアレントトレーニング勉強会等には管理者が参加しましたが、会議等にはこれから参加していきたいと思っています。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		連絡ノートだけではなく、登所・降所の受け入れ時、送迎の時にモニタリングを通して出来るだけ共通理解が出来る様に心がけています。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7		ペアレントトレーニングは集団で行っていませんが保護者のニーズに合わせて行動分析を一緒にしながら(ABA)お子さんへの対応について深掘していく支援をしています。	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		細かい説明がたくさんあり、説明を受ける保護者様も大変そうですが、契約時に説明をした上で、再度利用負担額等の引き落としの前に保護者にはノートや口頭等でお伝えするようにしています。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		ねらいと支援内容を元に支援計画を作成し個別支援計画書の説明の際、支援内容を確認して頂いた上で、保護者から同意を得て支援にあたっています。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		月1度、事業所内相談支援を必要とする保護者には相談支援を行っていますがそれ以外でも、送迎の際や電話等で相談支援をしたり、家庭訪問時に相談支援を行っています。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7	現段階では保護者会という形より、個別的に相談支援を行っています。	保護者会は開催しておりませんが、保護者の希望に応じて開催していきたいと思っています。(4月に開催を検討しています)
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		事業所内相談支援については、保護者の希望日や時間を聞きながら現場の体制を整えた上で相談支援をしております。保護者の相談や申し入れには迅速に対応できる様、努めています。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			ホームページを年度の途中で作成しましたので次年度は、保護者様にもより分かりやすく工夫して発信していく事を目標としております。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	7		個人情報の取り扱いには十分に注意をつけて発信等もしております。担当者会等を行う際にも保護者に同意を得た上で情報共有をさせて頂いております。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		必要に応じて絵カードを個別に使う児童や視覚的支援が必要な保護者様には、口頭だけでなく書面等を使いながら視覚支援等、配慮に努めております。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7		地域連携が出来る事業運営は今後、検討しております。次年度に向けて開催していける様、努めて参ります。
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している			感染症マニュアル・防犯マニュアル・緊急時マニュアルは開所と同時に策定し、保護者にもマニュアル策定について契約時、説明をさせて頂いております。	新年度に向けて改善点や新たに追加する項目もある為、見直しをし訓練を実施していく予定です。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		年間の避難訓練簿を作成し、年に3回地震・火災・水害の訓練を行い記録も取っています。救出訓練は児童の様子を見て行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		入所時に児童表を作成し、保護者に既往歴等を記入して頂いております。一人ひとりの健康状態を把握しながらその日の健康状態についても細かく聞き取りをしながら受け入れしております。服薬がある場合も薬の情報提供書もつけてもらい服薬依頼をしてもらっています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				現在、食物アレルギーを持つ児童がいませんが、栄養士も配置しているのでアレルギーのある児童が入所した場合は、医師の指示書に基づいて対応していきたいと思っております。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		7		具体的なヒヤリハット事例集は作成しておらず研修等はこれからなので今後、事業所内で共有し事故を未然に防げる予防に努めて行きます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		事業所のスタート共に、全職員が研修を行いました。その後も動画等で虐待防止の研修を行い適切な対応を常に心掛けています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7		基本的に身体拘束はしませんが、危険が伴う場合には行動を止めたりする事はあると言う事を保護者には説明し了解を得ています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。